

2020年 年頭所感

(本資料は、ジュピターテレコム代表取締役社長：井村 公彦の社員向け年頭挨拶の抜粋です。)

あけましておめでとうございます。2020年の年頭所感を申し上げます。

2020年は、十干十二支の「庚子（かのえ・ね）」の年です。「庚」は、「かわる」や「つぐ」を意味し、結実のあとに転身することと言われております。「新たな芽吹きと繁栄の始まり」という「庚・子」の由来を知った時に、現在の当社の立ち位置、今年のこれからの当社の姿に当てはまるのではないかと非常に心強く感じました。

■2020年は、お客さまの体験価値向上に一層の努力を

2020年に当社は創業25周年を迎えます。この25年、当社は右肩上がり成長を続けてきましたが、近年は、技術の進歩、消費者の視聴スタイル・嗜好の変化等、様々な要因により、競争環境が従前より厳しくなっています。そのような状況の中、当社はここ2年程、「Sense of Urgency」、つまり、健全な危機感を持ち、今まさに行動を起こさなくてはならないという感覚を持ちたいということ、皆さんと共有してきました。そして、「イノベーション」「革新」をキーワードに、新サービス・商品の構築、RPAに代表される業務効率化、収益の多角化などを図ってきました。昨年後半にようやく、「J:COM HOME」「J:COM メッシュ Wi-Fi」「J:COM LINK」を続けて、投入することができました。いずれのサービスとも、前述の消費者の様々な変化やお客様のご要望や潜在ニーズにお応えした、タイムリーかつ競争力のあるサービスだと自負しています。今年は、これら商品を通じたお客さまの体験価値の向上に努めていかななくてはなりません。

■「J:COM Everywhere」のコンセプトを、次のステージに進めよう

今年は、新サービスとして、春ごろにJ:COM HOME「スマートロック」をスタートさせ、後半には生活に関連した新しいタイプのサービスを投入する計画があります。もちろん、5Gの技術を起用しながら当社・お客さまにメリットのあるビジネスモデルをどう構築するか、STB（セットトップボックス）経由で得られるビッグデータのマネタイズ、遠隔医療の実用化にどう取り組むかなど、これらの課題にも「inch by inch」、しっかりとチャレンジしていかなくてはなりません。

当社のネットワークインフラについては、光化に向けた設備投資の実行を加速することが肝要です。FTTN Plus 工事を着実に実行し、1G化を順次進めるとともに、地域特性によって一部地域では、FTTH化を実現していきます。これはサービス品質の向上と厳しい競争に打ち勝つため、長期視点での取り組みであります。

メディア事業においては、オンデマンド事業の強化、イベント事業をはじめとする「コト消費」を狙った企画、データを活用した広告商品の開発、グループ会社におけるCM・プロモーション映像の制作等、放送外収入の拡大による事業モデルの転換を進めます。アスミック・エースの映画制作・配給事業では、昨年「映画 すみっこぐらし とびだす絵本とひみつのコ」などのヒットが生まれていますが、この勢いで今年前半の話題作、旬の若手俳優陣によって青春・音楽・人生が描かれた「サヨナラまでの30分」、新選組土方歳三を描いた「燃えよ剣」のヒットにつなげてくれることを期待しています。

以上のように、2020年は、放送・通信にとどまらず、「様々な生活面でのサポートをする」、「新しいエンターテインメントを提供する」、という当社の目指す姿、「J:COM Everywhere」のコンセプトを、次の新しいステージに進める年にしたいと考えます。これはまさに「庚・子(かのえ・ね)」の意味するところではないでしょうか。

■お客様と真摯に接することこそが、CX(Customer Experience)の原点

現在、当社では、「この街の役に立っているか」というコミュニケーションメッセージを展開しています。このメッセージは、J:COMという会社が、社会にもっと頼られる存在になるというコミットメントであり、お客さまに暮らしのなかの快適さや感動をお届けすることが当社の存在意義だと宣言しています。我々には「もっと心に響かせよう。もっと、暮らしを支えよう。明日を、未来を、拓いていこう。」という素晴らしい企業理念があります。この軸を決してぶらすことなく、常にお客様に喜んで頂くことを第一に、お客様と真摯に接することこそが、CX、お客様の体験価値向上の原点であります。日々の業務を遂行する上で難しい判断を求められるような時には、この企業理念に戻って、各々がどのように行動すべきか、どのように判断すべきか、企業理念にそった考えを追求してほしいと思っています。

■25周年を迎え、新たなステージに

冒頭申し上げたとおり、2020年1月18日で、当社は25歳。まさに未来を夢見る、野心とエネルギーに溢れた年ごろです。この「かのえ・ね」の年、25周年の年に、当社を新たなステージにセットし、次の10年間の成長基盤を築くべく、仲間を信じ、皆の力を結集して、ワンチームスピリットで挑戦していきましょう。

最後になりますが、「笑う門には福来る」。役職員皆さんが笑顔を決やさず、楽しく仕事に取り組まれることを願い、皆さんのご健康、皆さんのご家族の幸せを祈念しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

2020年1月
株式会社ジュピターテレコム
代表取締役社長 井村 公彦

ジュピターテレコムについて <www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社70局を通じて約552万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,164万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。 ※世帯数は2019年9月末現在の数字です。